

聖霊降臨節第7週 主日礼拝

2017年7月16日

第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(休会)

前奏	(新聖歌41)	司会者
招きのみことば	『ローマ人への手紙』3章23-26節	司会者
※開会の賛美	新聖歌4「小羊をば」	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	同
代表祈禱	司会者
感謝の賛美	新聖歌367「イエスよこの身を」	同
聖書朗読	『ヨハネの福音書』8章1-11節(新約191頁)	司会者
黙想	同
説教	「新しい"今"を生きる」	近伸之牧師
※応答の賛美	新聖歌233「驚くばかりの」 ^{おどろ}	同
感謝の献金	(新聖歌58)	同
感謝祈禱	佐藤 鈴子姉
諸案内	(来信・集会案内)	司会者
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師
※頌栄の賛美	新聖歌62「天つみ民も」 ^{あま}	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	同
※祝福の祈り	近伸之牧師
※後奏	(新聖歌59-7)	

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会説教：近伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：片山 健司兄 会：笹川 清子姉	映像・音響：片山 勝三兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：佐藤 繁実兄 掃除：山岸あけみ姉

説教メモ

1. すべての人は罪を抱えており、他人をさばく権利はない。しかし人は自分が罪人だと気づかず認めない。
2. イエスの沈黙は、女性への視線をご自分に引きつけ、イエスの言葉は人々の心の病巣をえぐり出した。
3. 「今からは」=特別な「今」。罪から逃れられなかった過去との完全な訣別。新しい「今」を生きていこう。

先週の暗唱聖句

「彼らの信仰を見て、イエスは『友よ。あなたの罪は赦されました』と言われた」

(『ルカの福音書』5章20節)

今週の暗唱聖句

「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。今からは決して罪を犯してはなりません」

(『ヨハネの福音書』8章11節)

牧師のサイン:

個人、団体からの来信

2017年7月16日

同盟・浜田宣教師よりNL「ブラジリアの風」No.14/
2017教師家族退修会の案内[8月21日(月)～奥胎内ヒュッテにて]/
北海道聖書学院より「学院通信」第83号および学院賛助者の募集

先週の集会出席者数

7/9(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児1 成人男性1 幼児女子3 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児4 成人女性1		
	第一礼拝	男4 女-		※月に一回、実用書道教室を開催
	第二礼拝	男13 女16 計29	7/10(月)	月曜家庭集会 (休会)
	(子ども)	男児1 女児4	7/12(水)	ネヘミヤ祈禱会 男3 女5
	夕拝	(休会)	7/14(金)	しゃべり場夕ピタ 男- 女3
			7/14(金)	金曜祈禱会 男- 女4

諸集会のご案内

	※月に一回、実用書道教室を開催		
7/17(月・祝)	月曜家庭集会	(休会)	
7/19(水)午後7:30	救 禱 会	教会堂	司会：片山 勝三兄
7/21(金)午後1:30	しゃべり場夕ピタ	渡邊智子姉宅	問合せ先：長谷川睦子姉
7/21(金)夜	金曜祈禱会	教会堂	

7/23(日) 聖霊降臨節第8週

第一礼拝	司会説教：近伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
午前8:00		担当：片山 初子姉	
教会学校	午前9:00		
歓迎礼拝	司会：山崎 敬典兄 集会：小林 洋子姉 映像：有志	賛美・音響：有志にて 説教の録音：片山 浩司兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：長谷川睦子姉 掃除：森田 澄子姉
午前10:30			

礼拝について	聖書：『ヨハネの福音書』11章1-46節
主日の予定	
夕拝	※諸般の事情により、夕拝は休会とします

報 告

1. 本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝します。この後は昼食をいただき、午後は木南先生の指導のもと合同賛美練習を行います。
2. 今週の予定について
明日 午前10:00より 開拓・未自立教会支援デー 村上市民ふれあいセンターにて
22日(土) 午後1:00開演 エヴァー・グリーン・コンサート 新潟県民会館 小ホール
// 午後1:00より 宣教区婦人会主催の講演会 新潟福音教会にて
3. 九州北部への支援について
今月初旬に九州北部を記録的な豪雨が襲い、同盟教団社会局より「九州北部豪雨支援募金のお願い」が届きました。詳細は、掲示している案内をご覧ください、そしてお祈りに覚えましょう。

「幸いな人生を形作る」安海靖郎 (『ライフ・ライン』メッセージ集より)

精神科医、B. W. ウルフという人の書いた『どうすれば幸福になれるか』という本が、随分読まれています。その本の冒頭に、人生に対する考え方、人生観が三つ紹介されています。

一つは「人生野菜論」です。人生とは食べ、飲み、眠り、年頃になったら結婚し、年老いて死ぬもの。だからさっさと生きる。野菜のように自然に生きればよいという態度。

その二は「人生ビジネス論」です。何のかのと言っても、人生は競争に勝つことだ。社会は適者生存。強い者、勝者が生き延びる。動物が自力で生きるように、自分でがんばり生きるんだという、「人生動物論」とも言えるもの。

三つ目は「人生芸術論」です。これが著者の勧める人生の態度なのですが、人生は、美術家が素材を見つけ、それに合った像をコツコツと彫っていくようなものだ。そのために、自分という素材をしっかり知る。他と比較したりする必要はない。世界で唯一の「自分」という素材なんだ。コンプレックスを持ったり、ひがんだり、失望したりする必要はなく、ただコツコツと着実に、自分という像に、目標に向かっていけばいいのだと言うのです。なるほどですね。


旧約聖書では、人間の生き方を、彫刻ではないのですが、少し似ている陶器造りに例えています。ろくろの上に粘土を置いて、目指す型に形作っていくわけです。そしてその陶器師は、自分ではなく、創造主なる神だと言うのです。

私たちは一生懸命コツコツと着実に目標に向かっていけばよいのですが、時には思わぬ方に行ってしまうたり、思い通りにいかなかったり、目標があいまいになったり、挫折することもあるわけですね。ですから、一生懸命するという面とともに、私たちの人生は、陶器師がやり直したり、造り替えたりすることがあるのだと思い、創造主がおられ、私たちを形造ってくださるのだと悟ると、より確かな歩みができるのではないのでしょうか。

人生の知者として知られるソロモン王は、旧約聖書、箴言16章9節に、自分の長い人生経験と神への信仰の結果をこのように書いています。

人は心に自分の道を思い巡らす。
しかし、その人の歩みを確かなものにするのは主である。



 ライフ・ライン 毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中です。
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592

7/22(土)「love In Silence」



Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN. ここから始まるあなたの伝道。

この5月に東京で行われたコンサート「ゴスペルシンキング2017~Love In Silence~」の様子を二週にわたって紹介します。このコンサートでは、国内外で活躍する14組のゴスペルシンガーが、「沈黙の中で見出した神の愛」をテーマに歌を披露しました。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

2017年7月16日

週 Weekly Bulletin 報

Vol. 46/No. 29 (通巻2324号)



岡本眸

ミズスマシとアメンボは、生物学的にはまったく違う昆虫（ミズスマシ科、アメンボ科）だが、俳句の世界ではミズスマシを「鼓虫（まいまい）」、アメンボを「水馬（みずすまし）」と呼ぶので、混乱する。小川や池・沼の水面に長い六本の足を張って、すいすいと滑走したり水面を跳ねたりしているのが、こちらの「みずすまし」（アメンボ）。飴（あめ）に似た匂いがするのでこの名がつけられたそう。

2017年度教会目標 **「受けるよりも与えることを」**
「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」
(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15
日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)
TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155
ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>
電子メール: info@toyosakakyokai.net
ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

